



第11回 東京女子医大 総合診療セミナー

プライマリ・ケア医が知っておくべき メンタルヘルスのすべて

東京女子医科大学総合診療科 竹村 洋典 教授

早稲田大理工学部から1982年に防衛医科大に入学。1988年に防衛医科大病院等で総合臨床医学研修を開始、1991年に米国・テネシー大にて3年間、家庭医療レジデントとなり米国家庭医療専門医および米国家庭医学会フェロー取得。1995年米国・タイ王国で熱帯医学フェロー。1998年から防衛医大病院総合臨床部・助手。2001年から三重大医学部附属病院総合診療科・准教授、2006年英国ダンディー大学医学教育資格課程、2010年から三重大大学院医学系研究科家庭医療学/医学部附属病院総合診療科・教授。2018年7月より東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科全人的医療開発学講座総合診療医学分野教授。三重大学名誉教授。2022年1月に東京都保健医療公社多摩北部医療センター総合診療科部長。2022年5月より東京女子医科大学総合診療・総合内科学分野教授。米国家庭医療専門医・米国家庭医学会認定フェロー、日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医、日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、日本医学教育学会認定医学教育専門家。
これまで日本共用試験評価実施機構医療面接ステーションリーダー、日本家庭医療学会副理事長、日本プライマリ・ケア連合学会理事、同学会誌編集委員長、国際総合診療医学会アジア太平洋支部学術誌編集長、日本専門医機構総合診療専門医検討委員会副委員長などを務めてきた。

プライマリ・ケアでよく遭遇するうつ病と不安障害、そして不眠症を今回は取り上げます。20人に1人がうつ病の時代、うつ病患者の6割は内科医を訪れています。中年層の死因のトップが自殺となっている今日、内科医がそれをどうやって発見し、どうやって対応するかが重要です。うつ病診断のポイント、さまざまな薬の使い方、そしてプライマリ・ケアで実施可能な精神療法の仕方など、わかりやすく説明します。また、不安障害もプライマリ・ケアではよく遭遇する疾患です。今回は、その中でパニック障害、社会不安障害などに焦点を当ててその診断や治療について、その診療のコツをお伝えします。さらに多くの患者さんは不眠を抱えています。このとてもコモンな病気もマスターする必要がありますでしょう。ご視聴いただければ、明日から、プライマリ・ケアにおいてメンタル・ヘルスの診療を楽しむことができますでしょう。

対象 総合診療に興味のある医師・学生・コメディカル

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

日時 2023年**5月10日(水)**
19:00~20:30



参加方法 QRコードよりお申し込みください

* 読み込めない方は下記URLよりお申し込みください

* 必ずではございませんが、日本プライマリ・ケア連合学会の生涯学習単位（医師・薬剤師）が付与されます。

* お問い合わせ先：東京女子医科大学 総合診療科医局
<pcc-ikyoku.br@twmu.ac.jp>

* ZOOM <03-3353-8111 内線：37312>

https://zoom.us/meeting/register/tJ0kfuiujqMiG90Ywnwxh_UMTVHBpbGsamLK